

に災害に即応する体制を確立し、防災・初動訓練を実施します。

浸水・土砂災害などの想定箇所を調査し、被災予想図（ハザードマップ）を地域防災計画と連動させるよう作成に着手します。さらに、養父市防災センターの設置に向け調査を開始するとともに、備蓄品を整備した防災倉庫を伊佐・宿南地区に設けます。

また、消防本部に自家発電装置を設置して停電時の通信を確保することも、船外機付き救命ボートを新たに配置します。

さらに、市内各地の風倒木や山腹崩壊を見るにつけ、森林整備の重要性やあり方を考えさせられます。森林の適正な保育や広葉樹の植樹なども進めなければなりません。

また、児童・生徒・教師に対する悲惨な事件が全国で多発しています。各学校に2本ずつ「さすまた」を配置するとともに、全児童・生徒に熊鈴を貸与していますが、さらに警察署と連携して各学校の防犯訓練を実施します。

行財政改革と10年計画づくり

行財政改革につきましても、行政改革推進委員会から最終答申をいただき養父市行政改革大綱を定めます。大綱に基づき行政改革10年計画となる実施計画を引き続いて作成しなければなりません。

中間答申に提言のあつたバランス

シートは、研究・検討に着手し早期に導入を図ります。次に、財政情報の公開はケーブルテレビ・広報やぶ・市ホームページなどを活用するとともに、市民に分かりやすく説明することに努めます。

職員研修・人材育成は、まちづくりへの意欲や説明・企画能力を高めるよう従来の研修や形式にとられない柔軟な方法も工夫するなどし、職員研修計画を併せて作成します。

事務事業など行政評価制度は、導入するための調査・研究に着手します。市民と市役所のパートナーシップは、NPO支援など参画と協働の推進方を立てます。

さらに、特別職の報酬10%カット、管理職手当の削減、超過勤務手当の抑制、職員数の削減による人件費の削減や、市長・議長・教育長交際費の削減補助金の見直し、業務改善などに取り組みます。

養父市の財政状況は、固定的な経費を削減しなければ持続可能な健全財政を確立できないと認識しております。このため、庁内で本格的な検討を4月から開始し、予算編成期までに18年度実施方針をまとめ、実施する決意です。

新市まちづくり計画を発展させ具体化する市振興（総合）計画を策定します。10年間の計画とし基本構想・基本計画とともに、行政改革実施計画とも連動させた実施計画・財政計画を作成します。

地域の教育力を高める

人を大事にする心、情豊かな人づくりを進め、生涯学習社会の実現を目標に、地域の教育力を高めるよう教育条件の整備・充実を推進します。

少子化対策及び多機能な学習環境の整備を図るため、この4月に建屋・三谷小学校を統合する新しい建屋小学校が開校します。さらに、大屋統合小学校の建築を進め、来年4月に開校させます。八鹿・青溪中学校統合につきま

しては、関係者の皆様のご理解をいただくよう地域での話し合いを進めるとともに、基本設計に着手します。建設中の高柳・関宮両小学校のプールは今年の夏に利用できるよう完成させます。

また、市民の個性や創造性を育てる公民館活動の推進、文化・スポーツの振興を図り、校区公民館・地区公民館など住民の自発的なコミュニティ活動を支援します。

ビバホールチエロコンクール第1位受賞者のリサイタルを東京と養父市で、木彫フォークアートおおよを継続して開催します。また葛畑農村歌舞伎を支援し、こども歌舞伎は全市を対象に実施します。

市民の交流を図る「養父市吹奏楽祭」「養父市民展」「養父市歌謡祭」等を、市内4公民館と市民の協働で開催するとともに、ソフトボール・ソフトバレーボール・野球の市民大会を新たに開催することになりました。さらに、小



行革中間答申をする行政改革推進委員（1月19日）

学校統合に伴う跡地活用につきましても、地域の皆様の参画を得ながら計画を推進するとともに、当面、地域スポーツクラブなどの利用に供します。

なお、のじぎく兵庫国体の開催を来年に控え、今年は正式競技のハンドボール成年男子をはじめ、市内各地でリハーサル大会をそれぞれ開催します。